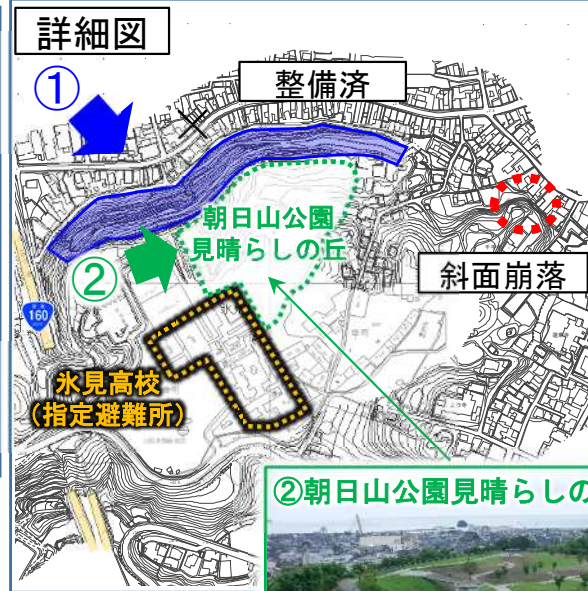


砂防関係施設の効果事例 七軒町地区(氷見市)



災害発生日：令和6年1月1日
発生要因：能登半島地震（震度5強）※氷見市加納観測点（県）
ひみし さいわいちよう
発生箇所：富山県氷見市幸町
状況：1月1日の能登半島地震により、氷見市内では5件のがけ崩れが発生した。一方、待受擁壁工、大規模な切土（約20万m³）と植生工により整備した七軒町地区の斜面では、崩壊は発生せず、高台である朝日山公園見晴らしの丘（急傾斜地崩壊対策事業と一体整備された市の防災公園）への避難路も確保された。
（津波警報の発表時には、公園に隣接する氷見高校（指定避難所）へ約700名が避難）
このことから、隣接する人家や避難路の被害を未然に防止し施設効果を発揮した。

①対策済み斜面



③氷見市内で発生したがけ崩れの例（園地区）

